

事業所名

キッズわん たいよう

支援プログラム

作成日

7年

3月

1日

法人（事業所）理念	ひとりひとりの個性を大切に、子どもたちの「できる力」を育て、地域の中で自分らしく生きる力を支援する				
支援方針	キッズわんでは子どもひとりひとりの発達段階や特性、興味関心を大切に、遊びや体験活動を通して社会生活・運動能力・コミュニケーション能力・社会性の向上を図り子どもたちが安心して過ごせる環境の中で成長を支える支援を行います				
営業時間	13時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	検温・安全への配慮、手洗い・うがいを行い健康状態の確認や健康の増進、身体的・精神的・社会的訓練の実施していきます 基本的な生活スキルの身につけ方、そして構造化による生活環境の整え方など、(例トイトレーニング・靴の脱ぎ履きなど)様々な要素を取り入れ子供たちの特性に合わせたプログラムを提供しています。また個々のニーズや目標に向けてサポートしていきます。自社にて畑を借り年間を通して野菜を育て『食育』も行っております。			
	運動・感覚	ムーブメント運動療法をはじめ、一人一人の特性に合わせた運動プログラムや機能訓練を通し、脳の活性化を図ることで集中力や基礎体力づくりを進めています。身体を動かしエネルギーやストレスを発散させることで、心と身体のバランスを保てるようにしています。 又、お友達と一緒に運動遊びをすることでルールを覚えたり、協力し合ったりと社会性や協調性などのソーシャル面での成長も促します。			
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、認知の発達と行動の習得、空間・時間・数等の概念の形成、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指します。 感覚の活用や認知機能の発達視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、情報が適切に取得され、認知機能の発達を促し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援致します。 また、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害への予防及び対応の支援も行います。			
	言語 コミュニケーション	「こんにちは」「さようなら」「いただきます」など、元気な挨拶や声掛けによるコミュニケーションを基本とし、他者との関わりを学んでいきます。他者からのアプローチを受け取ること・自分の気持ちや望みを正しく伝えられるようになるための一人一人の発達に合わせたコミュニケーションを支援していきます。また、喋ることが苦手な児童に対しては絵カード、文字盤、筆談、マカトンサイン等を使い一人一人の特性に寄り添い、発声以外のコミュニケーション手段も支援していきます。			
	人間関係 社会性	お子様一人ひとりの特性を理解し、集団活動への参加を支援致します。 集団活動の参加において並ぶ事や順番を待つ、周りと同じ行動を行う等の支援を行いながら集団活動の中で人間関係や社会性を学びます。また急な予定変更にも耐性がつくよう支援を行います。遊び・話す・聞く・触れる中でコミュニケーションを取りながらお友達や指導員との信頼関係の構築を行います			
家族支援	ご自宅への送迎時にキッズわんでの様子や日々の支援について報告共有いたします。またご家族の方の心配事や不安等についてはいつでも相談できる窓口を設けており助言・アドバイスを行える環境作りをしています	移行支援	移行先との調整、支援内容等の共有や支援方法の伝達・受け入れ態勢づくり協力や相談援助への対応等の支援を行います		
地域支援・地域連携	子どもに関わる関係機関や障害福祉サービス事業所等と連携し、子どもが将来に向け自立出来るよう包括的な支援を行います	職員の質の向上	新人研修 スキルアップ研修 毎月のミーティングにて虐待研修や事業所内研修を行う		
主な行事等	春：お花見、じゃがいも掘り 夏：七夕、夏休み外出、 秋：みかん狩り、ハロウィン 冬：合同クリスマス会、初詣、節分、youtube撮影 季節を感じる事ができるレクを行っています				